

市議会だより



本年もよろしくお願ひいたします。

平成30年12月定例会一覽

*****		平成30年12月定例会一覽		*****	
*****		○議案の審議結果		*****	
予算(原案可決)	4件	3・17日	議会運営委員会	○本会議(主な内容)	開会 12月3日
条例(原案可決)	2件	11・12日	総務文教消防委員会	3日	閉会 12月17日
その他(原案可決)	1件	11・13日	産業厚生建設委員会	会期の決定	会期15日間
その他(原案承認)	1件			提案理由説明	
人事(原案同意)	2件			補足説明	
陳情(趣旨採択)	3件			10日 代表質問・一般質問	
合計	13件			11日 一般質問	
				議案の委員会付託	
				17日 委員長報告・質疑・討論・採決	
				議員派遣	
				閉会中の継続審査	

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は3月です。

3月9日(土)は土曜議会を開催予定です。

滑川市の大地と水循環を守る条例 産業厚生建設委員会において否決も一転、本会議で可決

滑川市の大地と水循環を守る条例については、9月定例会の産業厚生建設委員会で素案が示され、10月に実施されたパブリックコメントを経て、今12月定例会に条例案が上程されました。市議会では、条例で定める規制や滑川市の地下水への理解を深めるため、2回にわたり産業厚生建設委員会協議会を開催、県の職員や学識経験者を招き、お話を伺いました。両日とも産業厚生建設委員以外の議員もオズバーとして出席しました。

11月13日は富山県民生活課の増山副主幹をお招きし、水循環基本法と県の水源地域保全条例について説明をいただきました。増山氏からは、水循環基本法は、規制や強制力はなく、基本理念を謳った法律であること、流域単位で水循環基本計画を策定する必要があり、関係者が連携して、地下水協議会を設置し、水の保全に取り組むことなどが定められていることや、富山県水源地域保全条例は、多くの森林が外国資本に買収されたが、森林イコール水源を大事にしななければならないということ、制定され、土地の取引に対して実態を把握し、水源の監視をしていこうという条例であるという説明がありました。

11月30日は富山県立大学の手計准教授をお招きし、滑川市の地下水の概要や、条例で規制対象としている事業が、地下水に及ぼす影響等について説明をいただきました。手計准教授からは、地下水は見えないものなので、データの採取が重要であること、産業活動と環境保護のバランスが大切であること、砂利採取の埋め戻しについては、採取後違う材質のもので埋めれば、地下への浸透も変わるという説明がありました。また、滑川市の地下水環境については、観測井の数が少なく、データを取るためには増やしたほうが良いと感じていること、水源がどこにあるのか、科学的に調査することが重要であること、水量や水質を定期的に管理・監視する必要性について説明がありました。条例や規制については、滑川市として環境の目標、イメージが市民と共有されていれば共感を得られるのでは、というご意見もいただきました。



11月30日 産業厚生建設委員会協議会

2回の協議会を経て、12月13日の産業厚生建設委員会では、条例の内容について、当局に対し多くの質問がありました(委員会の詳細については4ページ)。

委員会では、賛成3、反対3の可否同数であったため、滑川市委員会条例第16条の規定に基づき委員長が裁決権を行使して否決すべきものと決定しました。委員会では否決となりましたが、12月17日に開催された本会議においては一転、賛成7、反対6の賛成多数で可決され、条例が制定されることとなりました。

★可否同数

地方自治法では、特別の場合を除き、議会の議事は出席議員の過半数で決し、委員会については、滑川市委員会条例で、出席委員の過半数で決することとしています。しかしながら、賛否が拮抗した場合、可否同数となることもあります。このような場合は、本会議は議長、委員会は委員長がそれぞれ裁決権を行使し、可否を決することが定められています。なお、議長、委員長はそれぞれ議員、委員として議決に加わることはできません。

12月定例会

本会議

◇12月3日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、任期満了となる滑川市選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙を行いました。

引き続き、予算及び条例等の市長提出議案8件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

◇10日、11日は代表質問及び一般質問が行われ、11名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に、市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の17日には本会議を開き、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

なお、議案第67号については、産業厚生建設委員会において、可否同数だったため、委員長が決裁権行使して否決とした旨の報告がありました。

議案第67号に対し、浦田竹昭議員

から反対の立場で討論がありました。分離採決の結果、議案第67号については、賛成多数で可決、その他の7議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決または承認されました。

次に陳情第9号から第11号について採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で趣旨採択されました。

その後、市長から人事案件として、滑川市公平委員会の委員に尾嶋昌美氏（高月町）を選任すること、滑川市固定資産評価審査委員会の委員として山本隆氏（高月町）を選任することについて追加提案され、それぞれ同意されました。

最後に議員派遣及び閉会中の継続審査を議決して、12月定例会を閉会といたしました。

選挙管理委員会委員

補充員の選挙結果

委員

委員長 林 恵彰(笠木)
同職務 福田 作一(大崎野)
代理者 赤坂 俊夫(本江)

蛭川 稔(加島町)

補充員(補充順位順)

二川 隆次(神明町)
越井 一雄(宮窪)
中川 保(上島)
高橋 正(曲淵)

常任委員会での 審査 (主な質疑等)

各常任委員会への付託案件はP14をご覧ください。

総務文教消防委員会

慎重審査の結果、付託された4議案については、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

「陳情第9号」及び「陳情第11号」については、賛成全員で趣旨採択すべきものと決定しました。

☆平成30年度滑川市一般会計補正予算(第4号)について

「**問**」これから全国的にエアコンの工事が多くなり、エアコンが不足するとの話もある。早く着手して、暑い夏が来る前に完了するようお願いする。
「**答**」(上田市長) 暑くなる前にすみやかに設置したい。

また、市民会館コミュニティホール控室増築工事について、委員より施設の概要説明を求めたところ、市当局から「既存の控室に接続する形

での増築を予定しており、鉄骨平屋建で、延床面積は41・66平方メートルである。控室のほか、専用玄関、トイレを整備し、控室には、着替室洗面台、化粧カウンター等を備え付ける。年度内の完了を予定している。」と説明がありました。

「陳情第9号」及び「陳情第11号」については、12月11日に委員会を開催し、陳情第9号の陳情者の趣旨説明を行うことを決定しました。12月12日の審査においては、市当局より、「陳情第9号」については「出張・視察の報告内容が市民にとって有益かどうかなどを考慮し、必要に応じて公開したい。」との、「陳情第11号」については「市や施設の指定管理者である文化・スポーツ振興財団には駐輪場の器物損壊が頻発しているという情報は寄せられていないことから、治安が悪いとまでは認識していない。また、カメラは海側の駐輪場に4台設置しており、現時点では新たな設置は考えていない。防犯カメラ作動中などの張り紙等により防犯対策の啓発をしており、引き続き安全対策に努めていきたい。」との見解が表されました。



産業厚生建設委員会

慎重審査の結果、「議案第67号」を除く4議案につきましては、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第67号」については、可否同数となったため、滑川市議会委員会条例第16条に基づき、委員長が裁権を行使して否決すべきものと決定しました。

「陳情第10号」については賛成全員で趣旨採択と決定しました。

☆平成30年度滑川市一般会計補正予算(第4号)について

「コミュニティバス運行費の300万円について、今年度中に全体でどのくらい修繕費がかかっているのか。」

「当初予算では230万円を計上していたが、修繕費が増えてきたため、300万円を補正し、最終的には530万円程度になる見込である。」

☆滑川市の大地と水循環を守る条例の制定について

「第9条で定められた協議対象事業の規制だけで、本当に滑川市の大地と水を守るのか。」

「第16条に規定する審議会において、良好な大地と水循環の保全に関する総合的な施策に関する事項、水源涵養保全地域の指定に関する事項、規制対象事業の認定に関する事項等を審議調査する予定としている。審

議会で今後、山林や扇状地での涵養を進めるにあたって、どうすればよいかという審議や調査をしていくということも考えており、その中で大地と水循環を守っていくことを実施すべきと考える。

「地下水の観測井戸が重要である」と考える。増やすべきではないか。」

「当然データが多いほど地下水の動向もはっきりとわかるので、審議会でも地下水の調査、観測井戸の設置についても審議していただき、必要であれば調査等も実施していかねばならないと考える。」

「工場建設や宅地造成の場合に、地下へ浸透するような舗装の要請や融雪装置の規制、冬に田に水を張るといった規制もかけられるのではないか。一番大事なところが抜けているのでは。」

「(石坂産業民生部長) 審議会で審議する項目として、良好な大地と水循環の保全に関する総合的な施策に関する事項を掲げている。条例の基本理念に基づき、本市、市民、事業者が協力いただく内容についてさまざまな施策を掲げ、審議会で審査していただきたいと考えている。」

「水源涵養保全地域の指定について、どの地域を考えているのか。また、業者や市民への説明、周知は。」

「まずは、早月川扇状地や山林等が考えられる。市で持っているデータを活用して、どこまで指定するか審議会に諮って決めていくことにな

ると思う。指定したあとは市民、関係業者等への周知も必ず実施すべきと考えている。条例についても、条例制定から、施行期日の4月1日までの間を利用して、周知を行いたいと考えている。」

「この条例で、水質を大切にすること、地下水自体を確保したいのか、住宅団地を開発し、融雪にどんどんまわしているが、大丈夫と言われている。それならば、今規制をかける必要はないのではないか。」

「(上田市長) 今あるうちに止めないで、なくなると井戸が掘れなくなってしまうということを言っている。今規制をかけないと大変なことになる。」

「陳情第10号」については、12月11日に委員会を開催し、陳情者の趣旨説明を行わないことを決定しました。12月13日の審査においては、市当局から「市では、歩道が整備されている主要道路や通学路となっている路線を中心に、雑草等の繁茂状況に応じて草刈等の対策を計画的に実施している。例年、夏に一斉点検を行い、歩行者等の支障になると判断した箇所は速やかに除草等を実施している。県管理道路についても適正な維持管理に努めるよう適時要請しており、引き続き働きかけることとしている。」との見解が表されました。

日誌

30年10月12日	富山県東部消防組合議会行政視察(長野県)
16日	滑川中新川地区広域情報事務組合定例会
25日	産業厚生建設委員会協議会
29日	小矢部市より行政視察
11月2日	早月川等視察
5日	埼玉県桶川市より行政視察
9日	議会運営委員会協議会
13日	産業厚生建設委員会協議会
19日	公共交通問題検討特別委員会行政視察(岐阜県岐阜市、滋賀県東近江市)
26日	議会運営委員会
27日	富山地区広域圏事務組合行政視察(東京都)
28日	定例議員協議会
30日	産業厚生建設委員会協議会



埼玉県桶川市より行政視察

24日	富山県市議会議長会 正副議長研修会（滑川市）
22～23日	（栃木県那須塩原市） 議会運営委員会行政視察
17日	議会報編集委員会
10日	議会報編集委員会 定例議員協議会
31年1月	議会運営委員会協議会
25日	富山県東部消防組合議会議員協議会・全員協議会 ・本会議（魚津市）
17日	議会報編集委員会
3～17日	12月定例会

議会からのお知らせ

※3月定例会より陳情書の取り扱いが変更になります。

（請願書は今までと同様です）

陳情書の提出後の流れ

提出された陳情書は、議会運営委員会で協議し、所管の委員会に付託するか、議員に参考配付とするか決定します。議会での結果は、提出者に通知します。

一般質問

12月定例会では11名の議員が質問を行い、32項目について市当局の見解を求めました。質問と答弁の主な内容は次のとおりです。（すべての質問等詳細を記録した会議録は3月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です）ご利用ください。また、滑川市ホームページには、議会議録検索システムが搭載されており、ご利用ください。

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。



代表質問



43 21

2019年度予算編成の最重要事業は考えているのか。
市民が安全で安心して暮らしている農業について
観光について
まちづくりについて

（会派＝会派自民） 中川 勲 議員



Q 2019年度予算編成の最重要事業は考えているのか。

A 上田市長 国や県の動向を注視し、本市にできる事業がないか予算編成を行っている。最重要として土木事業の道路関係が随分遅れているので重点的に配分し、市民の満足度を上げていきたい。

Q 市民の生命、財産を守る地域防災計画を検証することが大切である。来年度予算に自然災害に対する備えの強化事業はあるのか。

A 上田市長 新年度においても、国、県からの情報収集に努め、市民の安全、安心のため先見性を持つて対応していきたい。

Q 豪雪の昨シーズンの反省を踏まえての除雪計画か。

A 藤名建設部長 昨シーズンの低温、豪雪を踏まえ今シーズンは、除雪パトロール等を強化し、初動体制の徹底を図る。また、除雪業者向けの説明会を開催し、除雪事項等やオペレーターの体調管理や除雪車両の点検、整備等を十分に配慮することを依頼した。

Q 地下道の安全通学のためにも防犯カメラや照明の照度アップが必要ではないか。

A 上田教育委員会事務局長 児童生徒の安全な通学路に向け、各道路管理者と合同点検を実施し、国や県のほうへ、防犯カメラや照明の照度アップを要望している。

Q 海洋深層水トマトの評判がよく、売れ行きがよいが、来年度は増産の予定があるのか。

A 石坂産業民生部長 3年をめどに栽培技術力やブランド化の確立を目指し、ハウスの増設を検討している。他の農家からも要望があれば支援をし生産者を増やしたい。

Q ほたるいかに海上観光の準備は順調に進んでいるのか。

A 石川副市長 ウェーブ滑川と漁業関係者と協議を進め、3月21日から5月6日の47日間運航を予定し、2隻体制で実施したい。また予約の開始日をこれまでの3月1日から1月中旬に早め、電話の受け付けにあわせホームページ上の予約も可能としたい。

Q みのわ温泉テニス村の活性化は、向いたり、全国誌「ゆらん」に記事を掲載しPR効果も大きい。新緑、紅葉が素晴らしい、泉質もよいのでさらにPRを強めたい。

A 石川副市長 県内外の学校へ出向いたり、全国誌「ゆらん」に記事を掲載しPR効果も大きい。新緑、紅葉が素晴らしい、泉質もよいのでさらにPRを強めたい。

代表質問



(会派) 日本共産党議員団 古沢利之議員

- 1 子育て支援について
- 2 市民の安全について



Q 厚生労働省は放課後児童健全育成事業(学童保育)の設備・運営の基準を作り、市もこれに沿った条例を作った。学童保育の支援員は県知事が行う研修を修了しなくてはならない。受講は順調か。

A 伊東教育長 平成27年から29年度の3年で41名が受講し、今年度10名の修了者も含め、修了者は全職員の6割となった。今後も資格取得を勧めたい。

Q 市の条例も厚生労働省の基準に基づいている。報道によれば、国はこれを自治体が参考にすべき基準に緩和する方針だ。見解を問う。

A 伊東教育長 保育の質の底上げや子どもたちの安心・安全な居場所の確保といった観点からの基準だったので、従来通りの運営が基本と考えている。運営主体などの意見も踏まえて判断したい。

Q 支援員の確保の観点からも支援員の処遇改善を求めてきた。取り組みはどうか。

A 伊東教育長 平成27年度に時間延長の場合の時間給を見直した。今年度から全クラブが、労災保険に加入した。今後も改善を検討していきたい。

Q 時間給では平成27年以降の改善はない。富山県の最低賃金は、平

成27年の746円から、本年(30年)10月には821円へと毎年改定されている。滑川市は平成27年から850円で、最低賃金を上回っているからそれでいいということか。

A 伊東教育長 検討しているところだ。

Q 9月議会では、防災訓練について、今後市の職員の訓練で避難所の開設・運営をやりたいとされた。検討しているか。

A 膳亀総務部長 職員の訓練については今準備をしており、年度内に実施したい。

Q 10月に3地区で行われた訓練での援助、協力が必要だったのではないか。

A 膳亀総務部長 今後、各関係の団体と地区の防災会と打ち合わせなり、進めていきたい。

Q 家庭用火災警報器の設置義務化から約10年が経過した。内蔵電池、センサーの経年劣化も指摘されている。どう考えているか。

A 元起消防署長 メーカーでは電池の寿命も最長で10年だが、機器の取替も推奨している。昨年3月にチラシで周知したが、今後設置、交換のPRをしていきたい。その他質問 市民の健康について

一般質問



青山幸生議員

- 1 教育方針について
- 2 交通事故ゼロを目指して



Q 教育は、地域住民にとって身近で関心の高い行政分野であり、専門家のみが担うのではなく、広く地域住民の意向を踏まえて行われることが必要とされる。滑川市の見解は。

A 伊東教育長 教育における大綱そのものを首長が定めているという点であり、大綱に従って教育を行っているということと地域の事情に応じて意向を反映し行っていると考える。

Q 土曜授業日に公欠となる全国大会と滑川市、滑川市教育委員会が後援、共催しているものはどのくらいあるか。

A 石倉学務課長 公欠の取り扱いについては学校長の判断で行っている。例えば県中学校体育連盟及び県中学校文化連盟関係、合宿も含む、また国、県、市、教育委員会主催または共催による行事。また前述に準ずる行事、または県代表として出場するなど学校長が認めるもので、主催者より依頼文があるものとしている。

Q 各種団体をもう一回整理し、来年度に向けて公欠の範囲を再考できないか。

A 石倉学務課長 今年度の実績等をまた校長会、教育委員会で総合的に判断し、次年度に反映できたらと思っています。

Q 県道黒川滑川線と市道下梅沢上島線との交差点、いわゆる上島公民館前の交差点は南側から進行した場合、東側から来る車が全く見えない。解決できないか。

A 黒川生活環境課長 同交差点の安全確認は、一時停止をきつちとしてから、上島公民館側に設置してあるカーブミラーを活用する方法が現在唯一の方法だと考える。今後、交差点注意などの啓発看板の設置など交通安全に努めたい。

Q 宮窪大島線と北野国道線との交差点(東部小近く)は、近年事故が多発している。西側から進行した場合、南側から来る車が見えない。解決できないか。

A 黒川生活環境課長 北野町内会から交差点の見通しが悪く危険であることから昨年12月に、カーブミラーを設置した。また8月の通学路点検においても、事故の危険性が指摘されたので通学路注意などの啓発看板を設置した。

一般質問



43 21

行政評価(事務事業評価)について
教育委員会の事務の点検及び
安全・安心について
東福寺野自然公園について
評価について

尾崎 照雄 議員



Q 行政評価を公開すべきと考えますが、市当局の考えは。

A 岡野企画政策課長 各事業について、評価結果はどうだったのかというものは、その事業ごとにお知らせしたほうが、この行政評価に基づく改善の実効を上げるためにも有効であると考えているので、評価結果をわかりやすくお知らせするように改善してまいりたい。

Q 教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書の公表は12月であるが、公表時期を決算特別委員会が開催される9月に間に合わせることはできないか。

A 石倉学務課長 来年度については、できる限り早く公表できるように進めていきたいと考えている。

Q 通学路に面しているブロック塀の安全点検は実施したのか。

A 石倉学務課長 市内7小学校の通学路のうち、学校から報告のあった箇所を中心としたブロック塀の安全点検については11月21日に教育委員会学務課とまちづくり課にて実施した。

Q 結果はどうであったか。

A 石倉学務課長 今回対象としたブロック塀は、民有地にあるとい

うことから、道路側から外見上のみの点検となった。その中で一部のブロック塀において傾き、ひび割れ等の懸念すべき状況が確認されたことから、その対応について各小学校及び関係各課と協議していききたい。

Q 東福寺野自然公園の存在を市長はどう受け止めているのか。

A 上田市長 これ以上の景観はないと思うくらいの風光明媚なところだと思っている。開発の仕方によつてはまだまだ楽しい展開ができると思うところだと思っており、総合的に見て滑川市の宝は、東福寺野自然公園だと思っている。人の集う東福寺野自然公園、これからも頑張つて育てていくべきだと思う。

Q バーベキュー広場の屋根が非常にさびてきている。改修の時期が来ているのではないのか。

A 荒俣公園緑地課主幹 バーベキュー施設について、開園当初から40年余り経過したことにより老朽化が進んでいる。今後、施設の更新も含めて、また皆様に愛される施設であり続けられるよう、対策を検討してまいりたい。

一般質問



43 21

観光について
除雪について
滑川市の水資源について
市内の湧水マップについて

脇坂 章夫 議員



Q 東福寺野自然公園のSL列車、富山湾に沈む夕日、銀河の世界、鐘のなる時計台など観光スポットとして考えられないか。

A 網谷観光課長 東福寺野自然公園は市外からも多くの人が訪れている。富山湾を一望できる、この地から見る夕日と夜景、そして満天の星空は滑川市の宝である。銀河鉄道999を思わせるSLハウスと富山湾に沈む夕日を融合した観光のなる時計台等、大変夢がある。今後の観光PRの参考にしたい。

Q 通学路の歩道除雪は子どもたちが学校にいた頃に除雪される。子どもたちが学校に行く前にしていただきたいと思います。どうか。

A 岩城建設課長 通学路の除雪は3月に調査を行ったうえで、除雪計画を策定し実施している。県道は、県のほうへ通学前に除雪するよう要請したい。

Q 魚津市鉢地内の養豚場で、豚コレラで殺処分されたときの埋却の場所を聞いているのか。

A 成瀬農林課長 魚津市鉢地内の養豚場に係る県への報告内容について、県に照会を行い、回答の中で埋却の用に供する土地について

は、他自治体において用地を確保するとのことである。

Q 早月川付近で埋却されないよう、県のほうに注意喚起すべきでは。

A 成瀬農林課長 家畜伝染予防法の規定により、埋却の用に供する土地は、人家、飲料水、河川及び道路に接近しない場所であつて、日常、人及び家畜が接近しない場所との制限がある。県への報告内容にも、他自治体に確保してあることから、早月川付近には埋却されないと考えているが、本市としても埋却されることのないよう、県にさらに働きかけてまいりたい。

Q 市長のほうで考えはないか。

A 上田市長 岐阜はすぐそばである。危ないと思っている。県としてしっかりと確認して対応していきたい。

Q 市内で湧き水の箇所は何力所あるのか。また、水位はどれだけか。

A 黒川生活環境課長 市内の湧水箇所数は現在のところ把握していない。県管理分も含め、地下水の水位観測井は5カ所設置しており、そのうち4カ所については、昭和63年と平成29年を比較すると全て地下水水位が低下している。

一般質問



4 3 2 1

観光振興について
子どもたちの安全・安心について
コミュニティバス事業について
有害鳥獣被害対策について

竹原 正 人 議員



Q ほたるいか海上観光の今シーズンの実績を踏まえ、来シーズンへの取り組みをどう考えているのか。

A 網谷観光課長

平日の乗船率が低かったことから、観光客の方々が予定を立てやすいよう、予約の開始日をこれまでの3月1日から1月中旬に早め、平日の予約増加に努める。また予約方法についても、これまでの電話予約だけでなく、ホームページ上での予約を可能とし利便性を図る予定である。

Q 外国人観光客の誘致について、今後、どう取り組んでいくのか。

A 網谷観光課長

今後さらに増加する外国人観光客を誘致するため旅行コースの一部に市内施設等が組み込まれるよう、旅行会社等に観光資源のPRと営業活動をしていくことが重要と考えている。

Q 小学校・中学校の空調設備導入による今後の維持管理をどう行っていくのか。

A 石倉学務課長

定期的な清掃、点検等に努めるとともに、今後経年劣化による不具合が発生しないよう、早期発見、早期対応を心がけていきたい。

A 上田市長

ありとあらゆる設備

は快適に使っていただけるよう、壊れればすぐ対応する。

Q コミュニティバスの修繕費が300万円計上されている。老朽化が原因と伺ったが、小出しに修繕をしても、いずれは買うほど修繕費を

かけなければならぬと考える。いつ更新できるかわからないバスをだましまし走らせるくらいなら、補助金に頼らないで毎年1台ずつ更新し、1台のバスを7年償却で走らせれば、予備車や市政バスとしての活用を含め、維持管理について改善できるのでは。

A 黒川生活環境課長

車両の老朽化に合わせ、走行距離の増加に伴う部品等の劣化により、年々修繕費がかさんできている状態である。車両の更新は、財源確保、修繕状況及び走行距離等を勘案しながら、今後、車両更新計画の策定を行う。

Q イノシシ対策としてのテキサスゲートの効果、手応えは。

A 成瀬農林課長

自動撮影カメラを設置し、効果検証を行っている。地元町内からイノシシが来なくなったとの感謝の手紙やお言葉をいただいております。効果はあるものと考えている。

一般質問



1 食（食品ロス）について
2 公民館の指導員報酬は

開田 晃 江 議員



Q 滑川市の学校給食での残食状況及び残食を減らすための工夫は。

A 石倉学務課長

本市における残食率は、年々減っており、小学校では平成23年度2%が、29年度には0.9%に、中学校では41%が0.3%となつている。また、各学校では給食委員会の児童・生徒が中心となつて、残食チェック週間を設定したり、集会での紹介や各教室への呼びかけなど、残食ゼロを目指した活動も行っている。

Q 給食時間が足りなかったら、どのような工夫をしているか。

A 石倉学務課長

「あと3分だったら食べられる」など一人ひとり尋ねて、時間を決めて延長したり、児童・生徒に合わせた対応をしている。

Q 学校給食の検食は誰が行っているか。

A 石倉学務課長

検食は、給食場長、各学校の校長が行っている。

Q 滑川市では、幼稚園児も給食を食べている。検食簿にもその日の感想（コンニャクやホタテの貝ひもが長い）など書き込んでいるが、提出することもなく、意見が反映されていない。ちょっと気をつけ

てくださいの一言があればいいと思うが、子どもの顔が見えていないような気がするが、いかがか。

A 石倉学務課長

そこらへんは把握していない。すみません。

Q 食品ロスの調査をしているか。

A 黒川生活環境課長

平成28年度に3回、29年度に2回、計5回を実施した。県の発生量は年間約27万トンで、滑川市は約614トンと推計されている。

Q 県でも食品ロスをなくすため、セミナーを開催し、啓発している。子どもの食に対する生活習慣樹立のため、先生を派遣してはどうか。

A 石倉学務課長

県教育委員会主催の研修会において、食品ロスを含め、専門的な知識・技術等の研修を受けており、その知識を持つ栄養教諭が1年をかけて全校全クラスで食育指導を行っている。

Q 公民館指導員の報酬、平成31年度へ見直し準備をしているか。

A 上田市長

職員以外の臨時職員を含め、再度見直したい。公民館指導員ばかりでなく、放課後児童クラブ指導員ほか、全体を見て、最低賃金にそらえられるような感じで進め、総合的に検討したい。

一般質問



角川 真人 議員

- 1 あいの風とやま鉄道滑川駅
利用促進のための取り組みについて
- 2 コミュニティバスについて



Q 駅前交番の横にチケットパーキングができてから、そこから出てくる車が無料駐車場の中を抜けてくることがある。朝の送迎ラッシュ時に、駐車場を抜けて駅の方へ上がってきた車が接触しそうになるのを何度も見かけた。事故が起こる前に対応を行ってはどうか。

A 石井まちづくり課主幹 滑川駅前広場には一方通行等の道路標識があり、車の進行に関しては定着しているものと考えている。必要があるなら公安委員会等と協議したい。

Q 朝の駅前は主に高校生を送ってくる車でいっぱいになっている。この送迎の車がスムーズに流れるように、乗り降りのためのスペースを設けてはどうか。

A 石井まちづくり課主幹 駅前にはスペースがあまりないため、送迎用に10台分の短時間駐車場を設けてあり、そちらを利用してもらいたい。

Q 現在バスが入ることができないような狭い道路の地域でも、利用することが可能になる小型バスの導入に期待している。考えているばかりでなく、タクシー会社に協

一般質問



大門 良 輔 議員

- 1 富山湾岸クルージングについて
- 2 滑川市の大地と水循環を守る
条例について
- 3 外国人労働者について



Q 富山県は美しい湾クラブに加盟をし、湾を生かした観光振興や資源保護、景観保全に力を入れていく。その環境下で氷見に航路申請の手続に入っていると伺っており、滑川市はもちろん、氷見もそうだが、富山県にとっても大きな可能性が広がると感じている。そこで氷見市との連携や今後どのような事業をされるのか伺う。

A 網谷観光課長 今後特別運航という形で、滑川から氷見、氷見から滑川へと向かう運航を行い、滑川や氷見の観光資源等をめぐぐるツアーを実施したいと考えている。

A 上田市長 今の氷見航路について試験運航をもう既に行っている。この航路が少しでも定着してくれば、両市の発展につながると思っている。また来年の美しい湾クラブの総会とデモンストラーションにおいて、キラリンが参加してお手伝いをする。

Q 現状地下水の汚染や汚濁、地下水の水量の低下など、報告はあるのか伺う。

A 黒川生活環境課長 県が毎年3カ所、上下水道課が毎年13の水源地で原水の水質調査を実施してい

る。現在のところ水質の汚濁や汚染などはない。

Q 海浜公園にためられた公共工事が出た残土の山について、これは近年砂利採取を行っていない影響もある。この状況は景観にもよくなく、どのような対応をするのか。

A 岩城建設課長 建設発生土を民間のストックヤードに搬出した場合、運搬費に加え処分費等の多額の経費がかかることから、建設コストの縮減を目的として積極的に有効利用を図る。

A 上田市長 どう利用するのか、できれば海浜公園とともに海を眺められる展望台も兼ねて整備をしたいと考えている。

Q 今後増加すると予想される外国人と共生し、多様性の社会実現に向けてどのように考えているのか。

A 岡野企画政策課長 増加する外国人も日本人と同様に地域住民である視点に立つたうえで、今後も外国人住民の受け入れ環境を整備しつつ、外国人を含めた全ての住民がお互いを理解し、ともに安心して暮らせる環境づくりを進めていく必要があると考えている。

一般質問



1 滑川市財政計画について
2 公園・緑地整備事業について

大浦豊貴議員



Q 明確な事業予算や大きな歳出を要す予算計画も、状況に応じては計画段階から公表することで市民一人ひとりが施策や財政状況を把握し意見を持つことにつながる。考えるが、事業計画段階での予算計画、見込み額の公表はできないか。

A 石川財政課長 それぞれの計画段階での事業費の公表については、先進事例を参考に研究していく。

Q 国で閣議決定された財政運営と改革の基本方針2018では地方自治体の基金の考え方、増減理由、今後の方針に関し、統一的な様式での公表を促すとともに、容易に比較できるように検討し、一覧化を指すところがあるが、この方針を踏まえ再度、計画段階での公表はできないか。

A 石川財政課長 なかなか想定だけでこれだけかかると公表していくというのは、難しい部分もあることをご理解いただきたい。

Q 公共建築物総量152施設延べ床面積17万8千314平方メートルを施設総量の適正化を図るうえで、平成42年度末までに、延べ床面積3%の削減計画であるが節減額の見通

しを立てているか。

A 石川財政課長 平成29年度末において、公共建築物の総量は17万4千89平方メートルであり2.4%の削減率となっている。これは、屋内運動場を建設したものの、駅前住宅や衛生センターなどを解体したことによるもので決算ベースでは150万円の削減になっている。このほか、このまま維持した場合の大規模改修や機器設備の更新費用などが節減になったものも考える。

Q 庁舎横、線路沿いの街路樹は倒伏の危険性が高まったということだが植栽されて何年だったのか。

A 荒俣公園緑地課主幹 市内の街路樹で古いものは大体40年過ぎたぐらいである。

Q 台風の影響による被害も予想されることから危険を伴う街路樹の本数、また点検は、どのように行われているか。

A 荒俣公園緑地課主幹 市内の街路樹は1千350本あり、管理している造園業者や市職員でも見回りをしている。倒伏の危険性を伴うものは事前の撤去等の対策を行っている。

一般質問



1 大地と水循環を守る条例について

浦田竹昭議員



Q 憲法の「財産権」について、土地所有者の財産権の侵害に当たらないか問う。

A 黒川生活環境課長 公共の福祉に必要な場合は、用いることが出来るかと考えている。

Q 民法の「所有権の内容」について、土地所有者の権利の侵害に当たらないか問う。

A 黒川生活環境課長 良好な大地と水循環を守るという目的を達成するためのものだと考えている。

Q 「自然環境に悪影響を与える行為」とあるが、その行為とは具体的に何かを問う。

A 黒川生活環境課長 規制対象事業に認定された事業を行う行為の事である。

Q 水源涵養保全地域の指定の客観的根拠、指定基準について問う。

A 黒川生活環境課長 水源を涵養する機能を維持するために、保全を図る必要がある地域を指定する。協議対象事業者に、なぜ5つの事業のみの指定なのか根拠について問う。

A 黒川生活環境課長 地下水の涵養機能、浄化機能、水質、水量の確保に悪影響を及ぼす可能性のある事業である。

Q 「水源涵養機能を阻害し」とあるが、その具体的な立証根拠について問う。

A 黒川生活環境課長 ここでの具体的な立証とか根拠については示すことが出来ない。

Q 「水質悪化をもたらすおそれ」とあるが、その具体的な科学的根拠について問う。

A 黒川生活環境課長 具体的な科学的根拠と立証根拠、事案を示すことは出来ない。

Q 「事業の中止、原状回復命令」について、過度な公権力の行使に当たらないかについて問う。

A 黒川生活環境課長 目的を達成するために判断するものであり、過度な公権力の行使には当たらないと考えている。

Q 条例に基づいた行政手続に関して、行政事件訴訟の提起が想定されるが、見解を問う。

A 黒川生活環境課長 良好な大地と水循環の保全に関する施策の推進であり、事業者、市民等に十分理解していただくことで、行政事件訴訟の危惧は回避できるものと考えている。

姉妹都市

親善交流

(10月29日～31日)

市議会は、那須塩原市議会・小諸市議会へ4年に1度表敬訪問して、交流を深めるなど、お互いの絆を大切にしています。

◆栃木県那須塩原市

(10月29日～30日訪問)

◎明治から大正にかけて、多くの滑川出身者が開拓のため栃木県那須野が原に入植し、本市の血縁者が多数活躍していることから、平成8年4月15日に西那須野町と姉妹都市の盟約を結びました。その後、市町村合併により那須塩原市となったので、平成18年3月24日、那須塩原市と姉妹都市の盟約を結んでいます。

那須塩原市では、観光の取り組みについて、観光局を法人化し、プロモーションや各種タイアップといった事業に取り組んでいるという説明を受けました。また、那須塩原市議会は2017議会改革度ランキング20位と議会改革の先進地でもあり、議会改革の取り組みについても説明を受けました。さまざまな講師を招いて議員研修を行っていることや議会基本条例の検証、議会報告会等に

ついて説明を受け、大変刺激を受けました。

翌日は「那須野が原博物館」、「旧青木家那須別邸」の現地視察を行い開拓の歴史について解説を受けました。



那須野が原博物館

◆長野県小諸市

(10月30日～31日訪問)

◎昭和49年4月23日「福祉都市の実現」を共通テーマに、姉妹都市の盟約を結び、提携後は、市民を中心とした団体交流を柱に友好を深めています。

平成27年に完成した小諸市役所を見学し、議場や図書館、ホール等について説明を受けました。

翌日は小諸市における効率的な捕獲事業の取り組みについて、小諸市で大きな被害をもたらしている二ホ

ンジカの捕獲体制を見直し、野生鳥獣商品化事業として、捕獲した二ホンジカを加工し、ペットフードとして販売することで、持続可能な捕獲体制の構築を目指していることについて説明を受け、その後、野生鳥獣商品化施設の視察を行いました。



小諸市野生鳥獣商品化施設

公共交通問題検討

特別委員会行政視察

(11月19日～20日)

◆岐阜県岐阜市

◎岐阜市では、路面電車の廃止、市営バスの民間譲渡に伴い、バスを中

心とした公共交通ネットワークを構築していくこととなりました。

岐阜市コミュニティバスの最大の特徴は、地域住民、行政、運行事業者の3者が協働して運営協議会の設置をしている点で、特に地域住民が中心となり、路線・ダイヤ・運賃等を決定しています。

運行状況は平成30年現在19地区で運行しており、平成30年6月には利用者数累計400万人を突破したということでした。



岐阜市役所

◆滋賀県東近江市

◎東近江市は、「ひとにやさしいバス交通とにぎわいの創出を目指して」を基本理念に、「コミュニティバス第1次再編計画を策定しました。要点として、①公共交通空白地の解消、②愛称を「ちよこつとバス」に統一、③補完するデマンドタクシー

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、3月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。



東近江市役所

の導入等があります。需要に見合った効率的な運行計画を行うため、東近江市内で運行しているバスを、主要鉄道駅を結ぶ路線は「広域交流路線」、市民生活に密着した駅、病院、買物施設に通じる路線は「生活圏維持路線」に分類しました。

平成29年からの第4次再編計画では、①交通弱者を始めとした誰もが利用しやすい環境整備、②鉄道や路線バスとの連携強化、③利用者のニーズに沿った路線設定、④コミュニティバスの新たな付加価値の創出の4つを基本方針としました。

現在、ちよこつとバスは9路線、ちよこつとタクシーは、10路線12エリアで運行しているとのこと。

陳情・要望書

件名及び提出者

処理結果

・陳情(3件)

- 1 県外・国外の出張・視察の復命書・報告書に「所見」欄を設け、その記載内容の公開を求める陳情……………趣旨採択
市民オンブズ滑川 毛利 豊
- 2 主要道路の路側帯及び歩道部分の巨大な雑草駆除の陳情……………趣旨採択
毛利 豊
- 3 滑川駅駐輪場の治安向上の陳情……………趣旨採択
毛利 豊

・要望書(7件)

- 1 要望書……………全議員へ参考配布
一般社団法人 富山県建築士事務所協会 会長 堂田 重明 外2名
- 2 平成31年度 理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてのお願い……………全議員へ参考配布
公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇
- 3 公共施設等における木材の利用促進について……………全議員へ参考配布
富山県木材組合連合会 会長 西村 亮彦 外3名
- 4 学校教材の計画的な整備推進についてのお願い……………全議員へ参考配布
一般社団法人 日本教材備品協会 会長 大久保 昇
- 5 要望書(一般廃棄物処理業務委託について安定かつ恒常的な
適正契約締結について 他3項目)……………全議員へ参考配布
富山県環境保全協同組合 理事長 廣瀬 淳 外1団体
- 6 要望書(浄化槽関係予算の拡充 他5項目)……………全議員へ参考配布
一般社団法人日本環境保全協会 会長 山条 忠文 外2団体
- 7 平成31年度滑川市行政施策に対する要望について……………全議員へ参考配布
滑川商工会議所会頭 今家 英明

議決結果

議案番号	議案内容等	委員会	採決結果
議案第63号	平成30年度滑川市一般会計補正予算(第4号)	総産	原案可決
議案第64号	平成30年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第65号	平成30年度滑川市水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第66号	平成30年度滑川市下水道事業会計補正予算(第2号)	産	原案可決
議案第67号	滑川市の大地と水循環を守る条例の制定について	産	原案可決
議案第68号	滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第69号	地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて	総	原案承認
議案第70号	滑川市民交流プラザの指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第71号	滑川市公平委員会の委員の選任について		原案同意
議案第72号	滑川市固定資産評価審査委員会の委員の選任について		原案同意
陳情第9号	県外・国外の出張・視察の復命書・報告書に「所見」欄を設け、その記載内容の公開を求める陳情	総	趣旨採択
陳情第10号	主要道路の路側帯及び歩道部分の巨大な雑草駆除の陳情	産	趣旨採択
陳情第11号	滑川駅駐輪場の治安向上の陳情	総	趣旨採択

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会

賛否一覧表

議案	会派 自民				共産党 議員団		無 会 派								
	原 明	岩城晶巳	中川 勲	高橋久光	角川真人	古沢利之	大門良輔	大浦豊貴	脇坂章夫	青山幸生	竹原正人	尾崎照雄	浦田竹昭	開田晃江	
議案第67号	/	●	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	
滑川市の大地と水循環を守る条例の制定について															

※賛成者は○、反対者は●としています。※議長は採決に加わらないため「/」としています。
 全員賛成または全員反対以外の議案についてのみ掲載しています。

【お詫びと訂正】
 議会だより第192号に掲載しました決算特別委員会委員の中に青山幸生委員が含まれていませんでしたので、訂正いたします。申し訳ございませんでした。
 正しくは左記のとおりです。

委員 開田晃江	委員 岩城晶巳	委員 角川真人	委員 脇坂章夫	委員 大門良輔	副委員長 竹原正人
	委員 古沢利之	委員 尾崎照雄	委員 青山幸生	委員 大浦豊貴	委員 中川 勲

議会報編集委員会から
 「市議会だより」について、皆様のご意見をお寄せください。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。
 電話 475-12111
 (内線 371)

【議会報編集委員】
 角川真人委員長
 岩城晶巳副委員長
 大門良輔委員
 竹原正人委員
 尾崎照雄委員
 開田晃江委員